

令和5年度愛知県臨床検査技師会 精度管理調査報告

細胞検査部門 愛知県臨床検査精度管理調査報告

日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院
病理検査課 新田憲司

COI開示

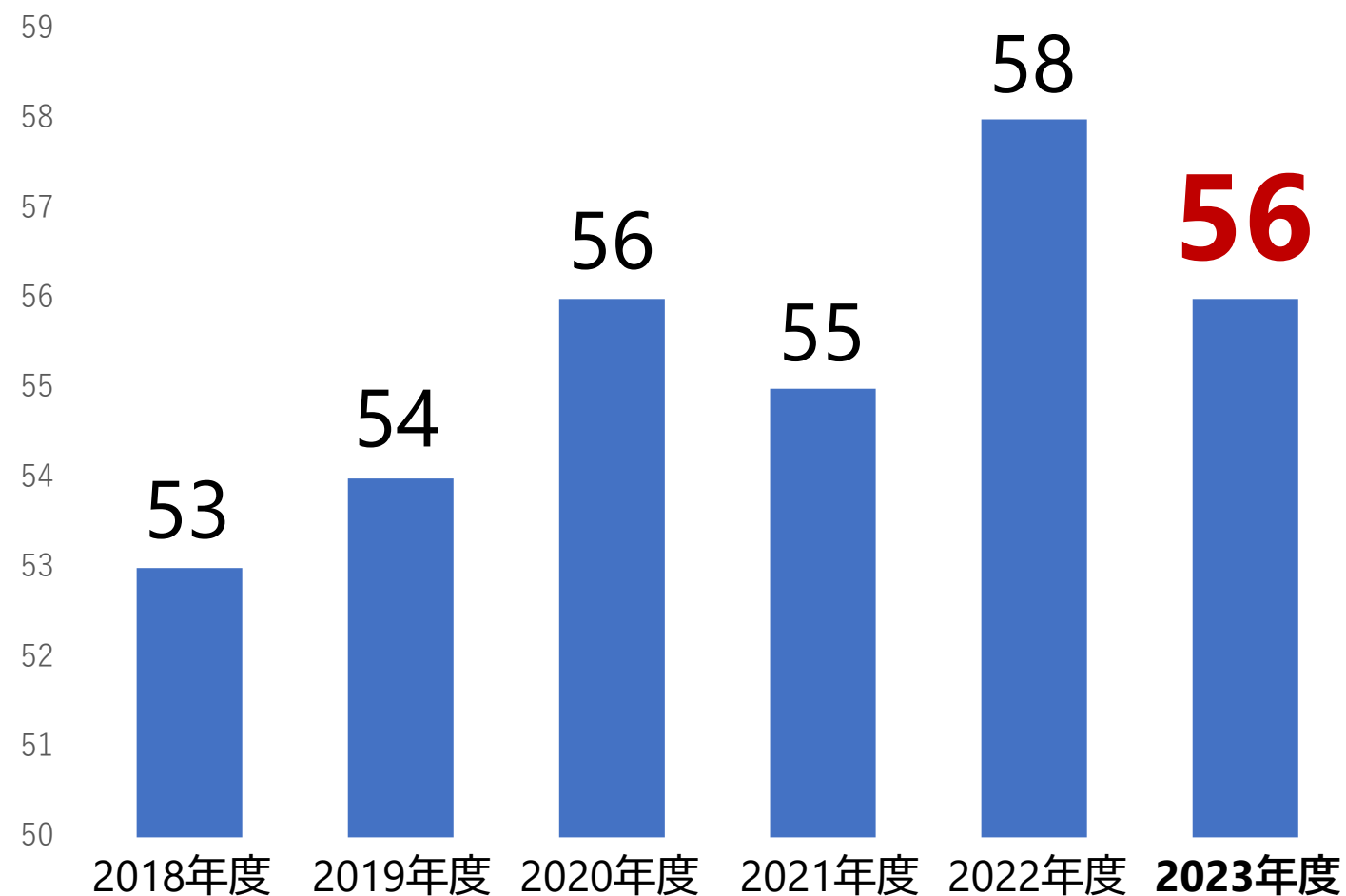
愛知県臨床検査技師会 精度管理調査報告

発表者：新田 憲司

本発表に際し、開示すべきCOIはありません

令和5年度 細胞検査部門フォトサーベイ 参加施設

参加施設数



今年度の参加施設

56 施設

細胞検査部門フォトサーベイ

□ 問題

評価対象問題を**10**題出題

□ 回答方式

推定される病変(組織像)を**5**つの選択肢から選択

□ 評価

正解のみを評価**A**とし、不正解を評価**D**と設定

設問について

□ 評価問題10題

子宮頸部 2 問

呼吸器 2 問

体腔液 1 問

泌尿器 1 問

甲状腺 1 問

乳腺 1 問

リンパ節 1 問

脳 1 問

設問解答

設問1	NILM:トリコモナス原虫	設問6	ウイルス感染細胞
設問2	LSIL:軽度異形成	設問7	慢性甲状腺炎
設問3	小細胞癌	設問8	線維腺腫
設問4	肺胞蛋白症	設問9	ホジキンリンパ腫
設問5	腺癌	設問10	髄膜腫

フォトサーベイ調査結果

設問	正解率(%)	
設問1	100%	
設問2	100%	
設問3	100%	
設問4	100%	
設問5	94.6%	胸水
設問6	100%	
設問7	96.4%	甲状腺
設問8	98.2%	乳腺
設問9	94.6%	リンパ節
設問10	100%	

設問5

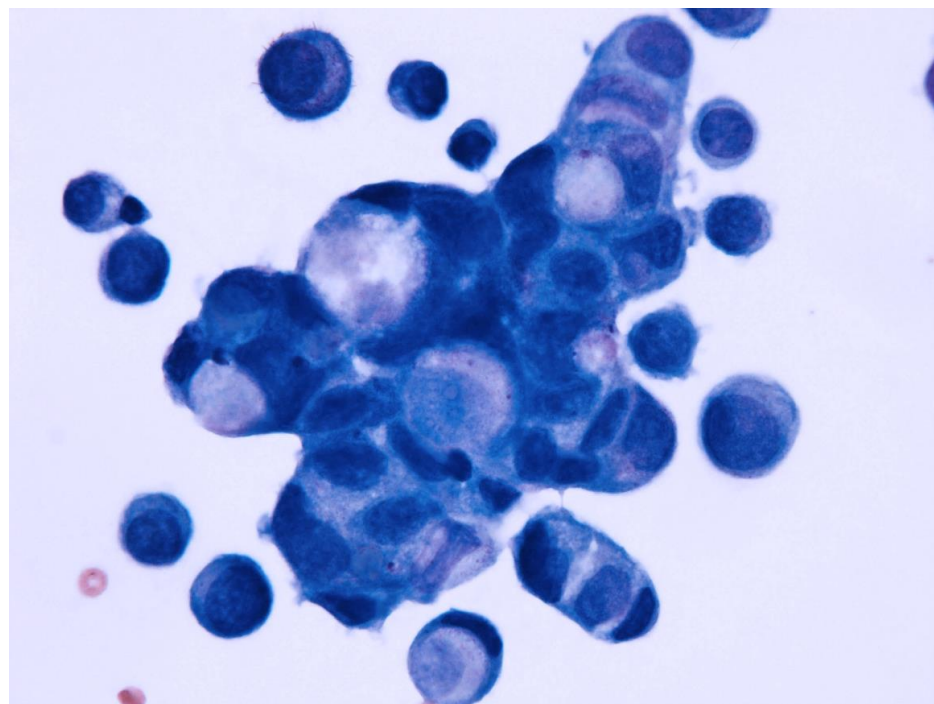
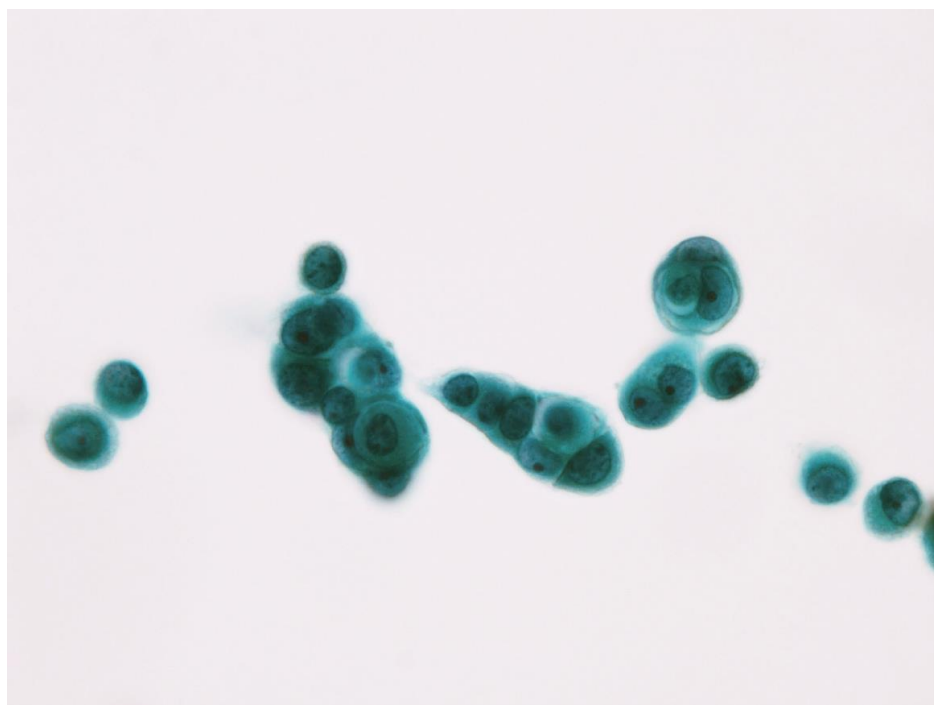
年齢 : 30代

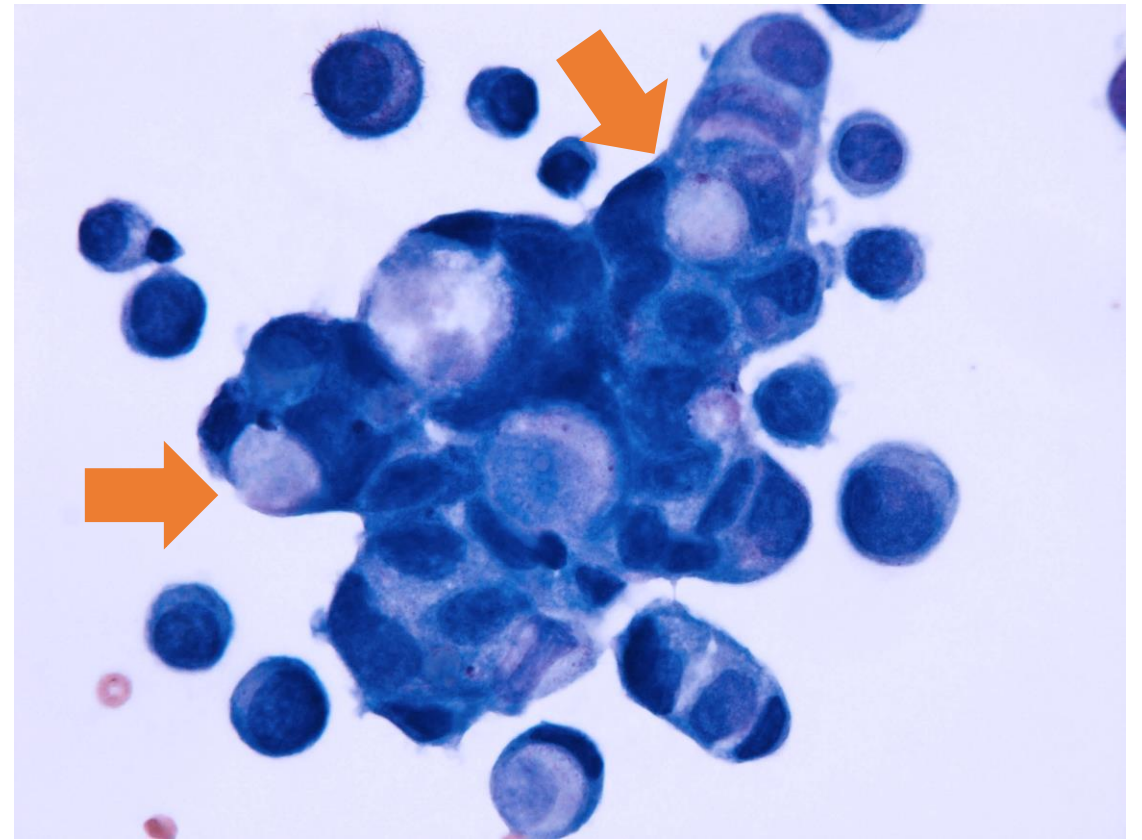
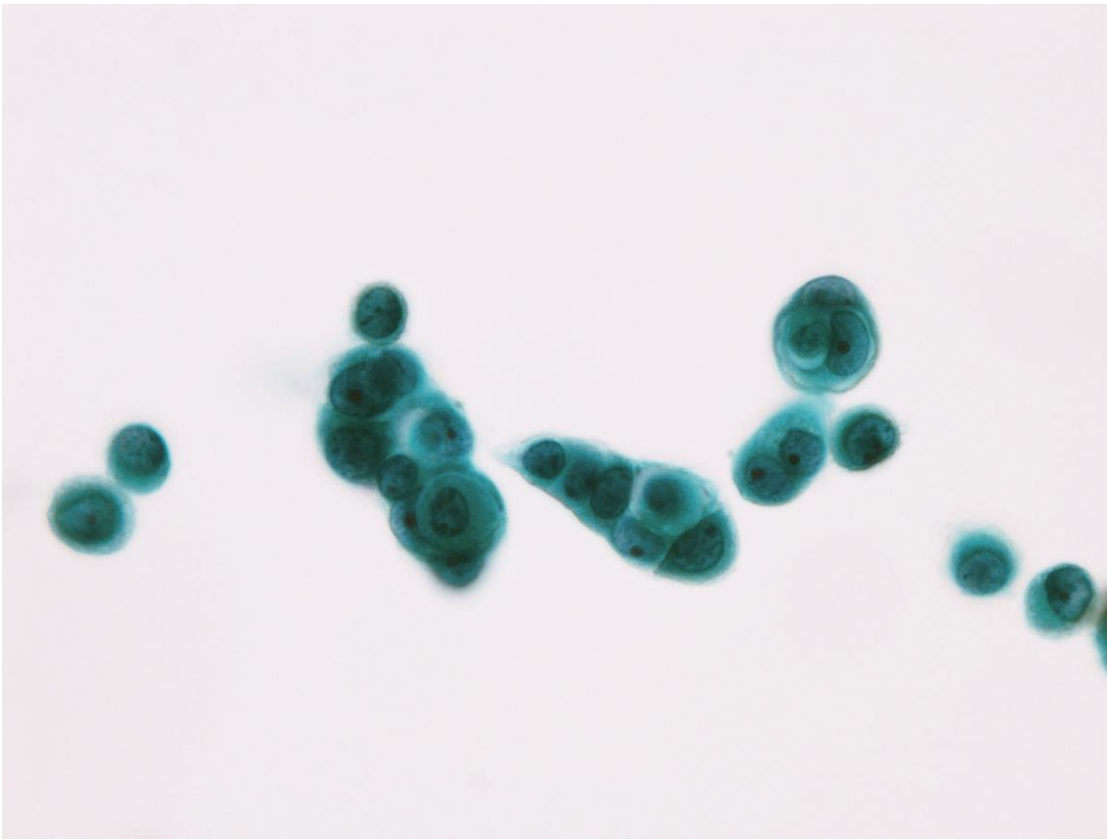
性別 : 女性

臨床所見 : 乳癌術後、治療中に胸水貯留

検体 : 胸水

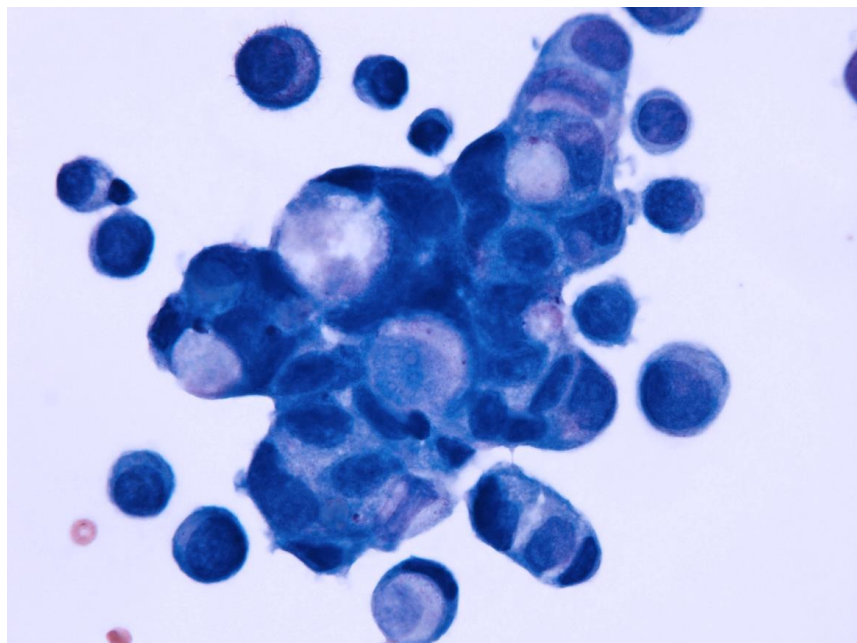
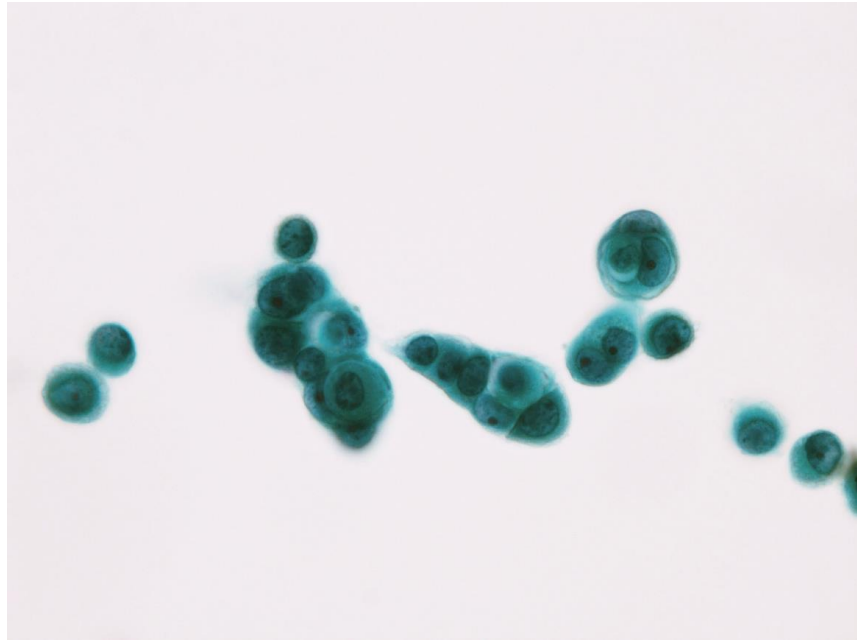
推定病変	件数	%
反応性中皮細胞	3	5.4
腺癌	53	94.6
扁平上皮癌	0	0
小細胞癌	0	0
悪性中皮腫	0	0





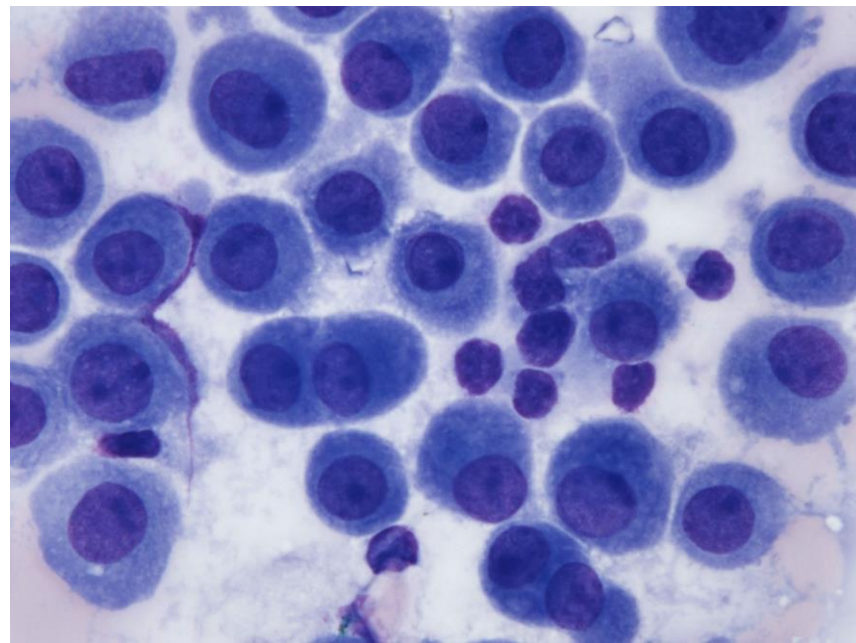
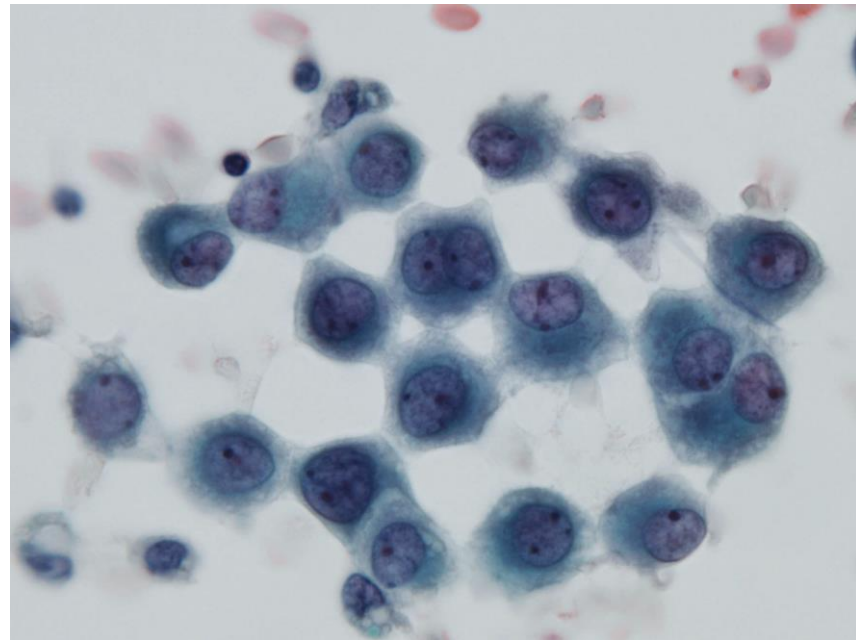
- ✓ 円形～類円形の小型でN/C比の高い均一な細胞が索状・楔状配列にて出現
- ✓ 核に緊満感があり、核クロマチン増量、小型核小体を認める
- ✓ 相互封入像が散見される
- ✓ Giemsa染色では、胞体内に細胞質内小腺腔(ICL)を認める

正解：腺癌



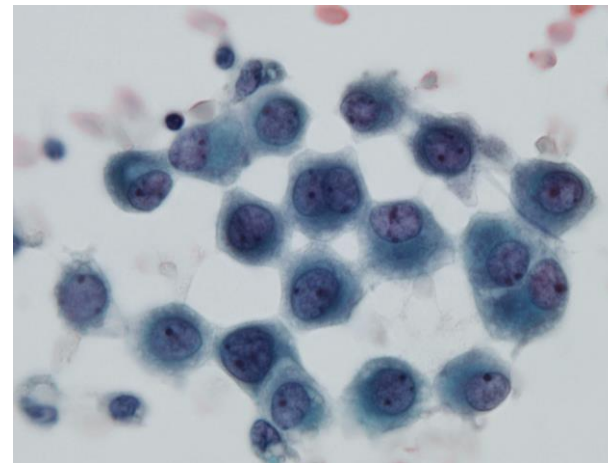
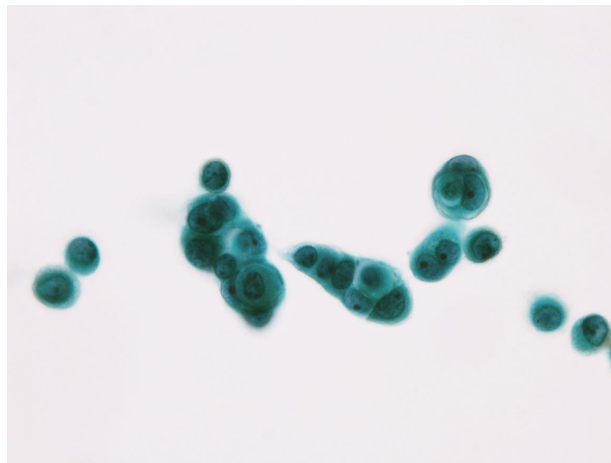
腺癌(本設問)

VS



反応性中皮細胞

鑑別対象



	腺癌(本設問)	反応性中皮細胞
核	小型類円形 偏在性	類円形～橢円形 中心性
核異型	軽度	なし
核クロマチン	微～細顆粒状	微～細顆粒状
核小体	明瞭(小型)	明瞭(小型)
相互封入像	(+)	(±)
細胞質	少～豊富 辺縁は明瞭 ICL(+)	豊富 辺縁はやや不明瞭

設問7

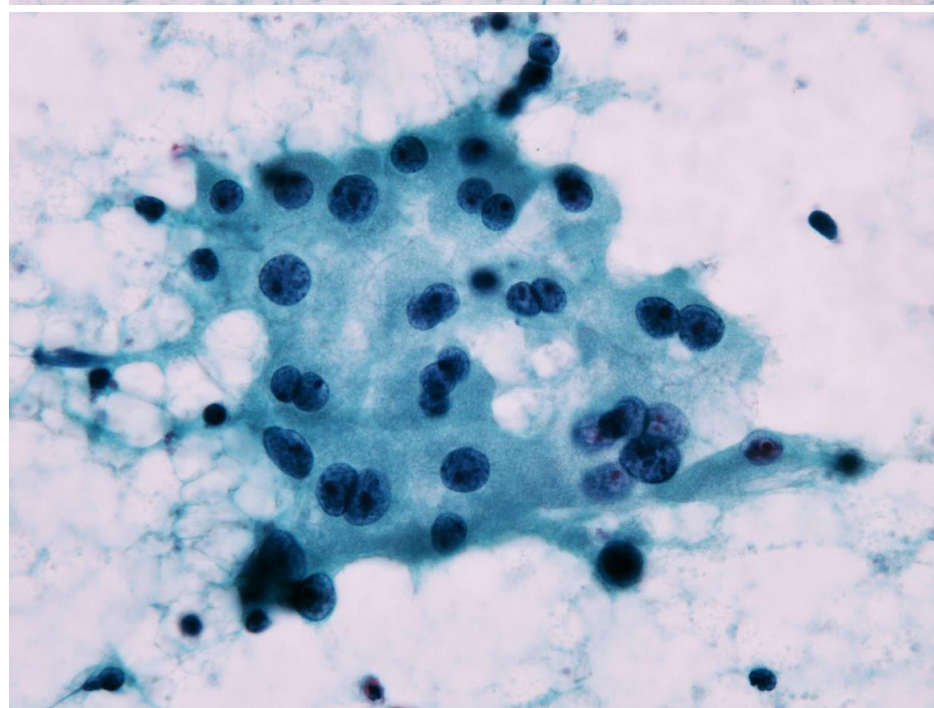
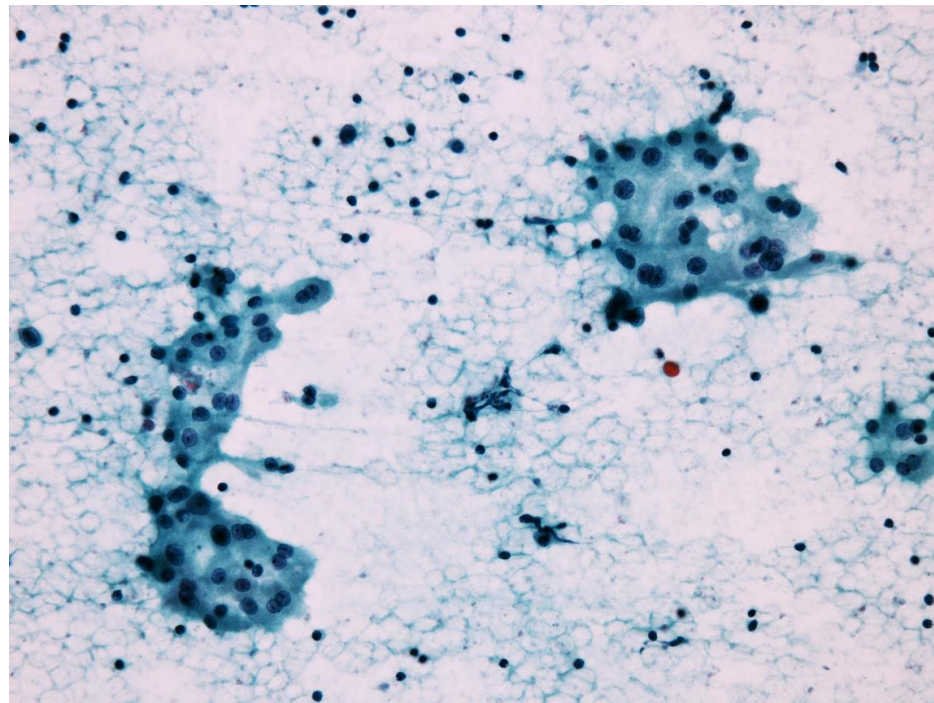
年齢 : 60代

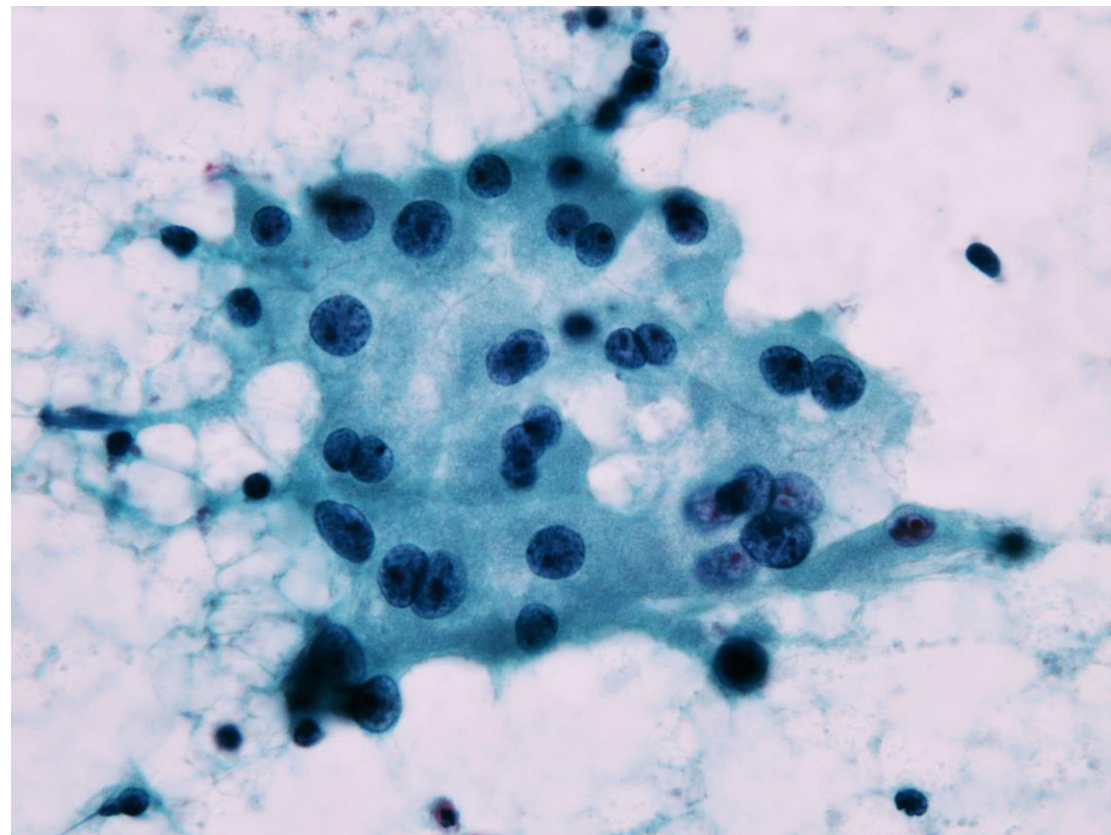
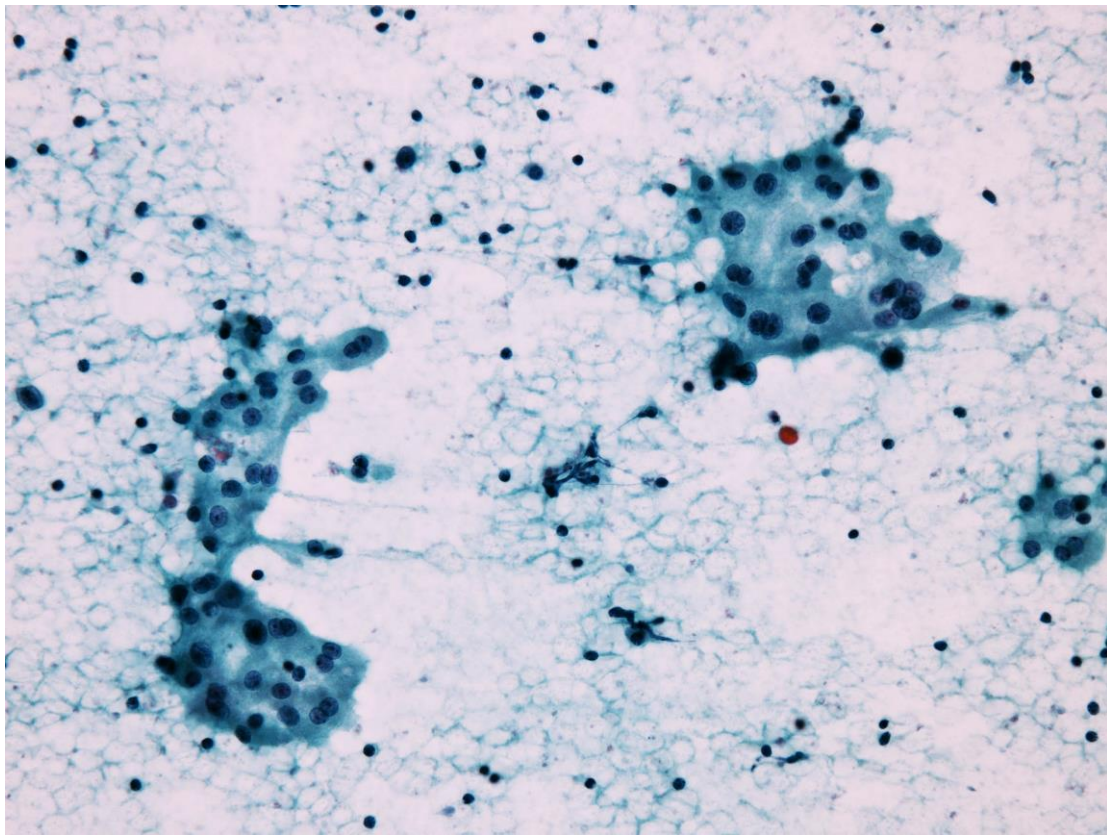
性別 : 女性

臨床所見 : 甲状腺腫瘍の疑い

検体 : 甲状腺穿刺吸引

推定病変	件数	%
亜急性甲状腺炎	0	0
慢性甲状腺炎	54	96.4
腺腫様甲状腺腫	0	0
濾胞性腫瘍	2	3.6
乳頭癌	0	0





- ✓ 多数の**小型リンパ球を背景**に、濾胞上皮細胞の集塊が出現
- ✓ 濾胞上皮細胞は、N/C比が低く、核は大小不同や核クロマチンの濃染を認め、細胞質に好酸性変化を有する

正解：慢性甲状腺炎

背景からの鑑別診断

コロイド

- ✓ 粘稠度が低い → 正常、非腫瘍性濾胞性病変
- ✓ 粘稠度が高い(硝子様コロイド) → 濾胞性腫瘍
- ✓ 粘稠度が高い(ローピーコロイド) → 乳頭癌

炎症細胞

- ✓ リンパ球 → 慢性甲状腺炎
- ✓ 多核巨細胞 → 慢性甲状腺炎、腺腫様甲状腺腫、乳頭癌
- ✓ リンパ球、好中球、多核巨細胞 → 亜急性甲状腺炎

好酸性細胞質からの鑑別診断

好酸性細胞質を呈する疾患

- ✓ 慢性甲状腺炎 → 背景にリンパ球
- ✓ 腺腫様甲状腺腫 → 背景に泡沫細胞、コロイド
- ✓ 好酸性細胞型濾胞性腫瘍 → 二核細胞が目立つ
- ✓ 乳頭癌(好酸性細胞型) → 核内細胞質封入体(+)

設問8

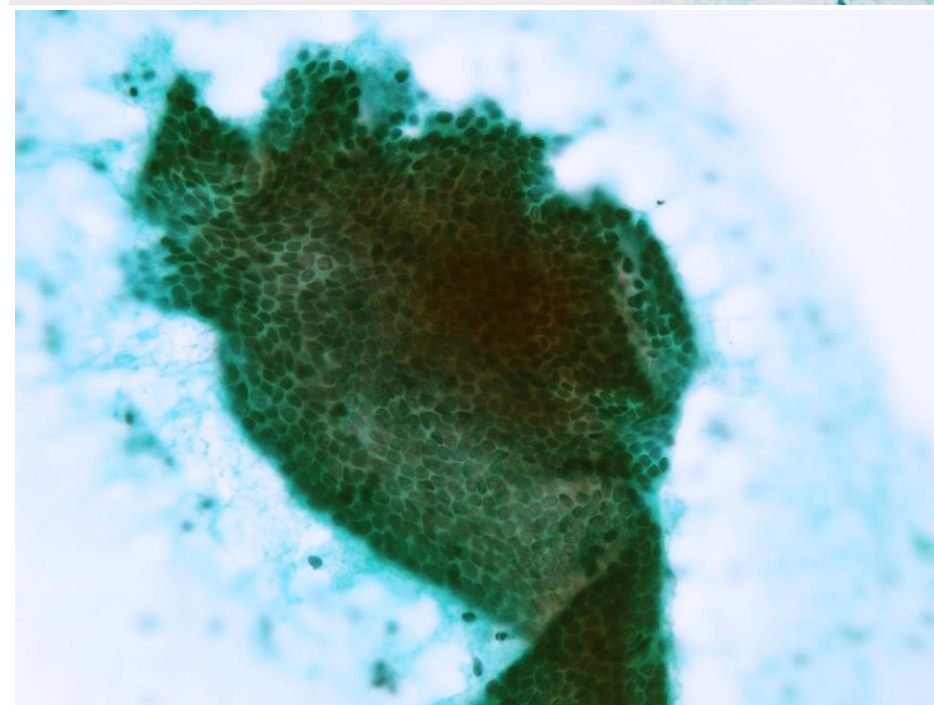
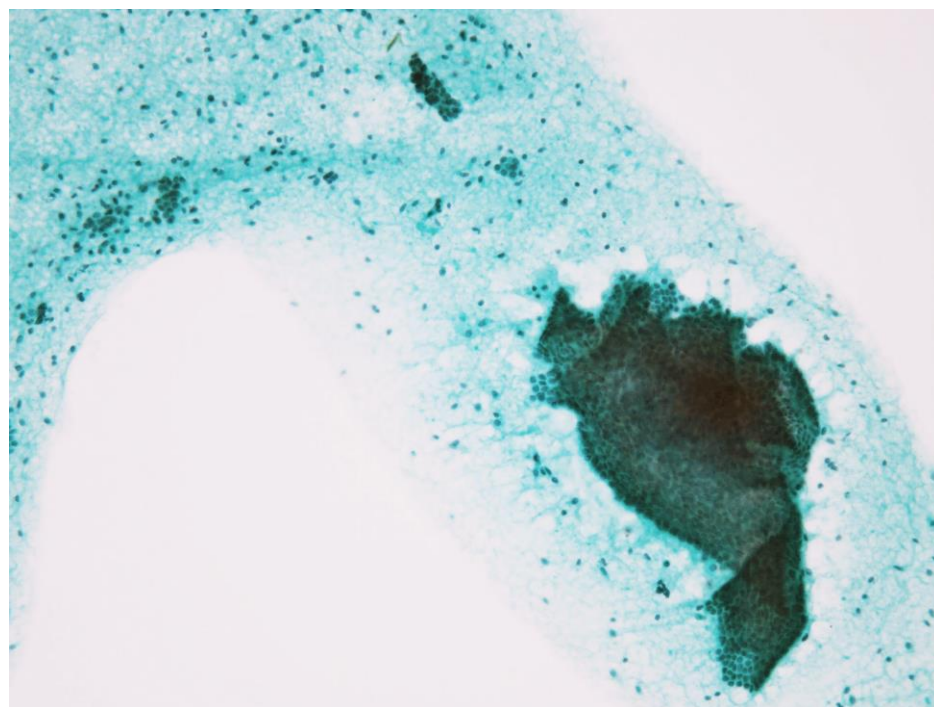
年齢 : 40代

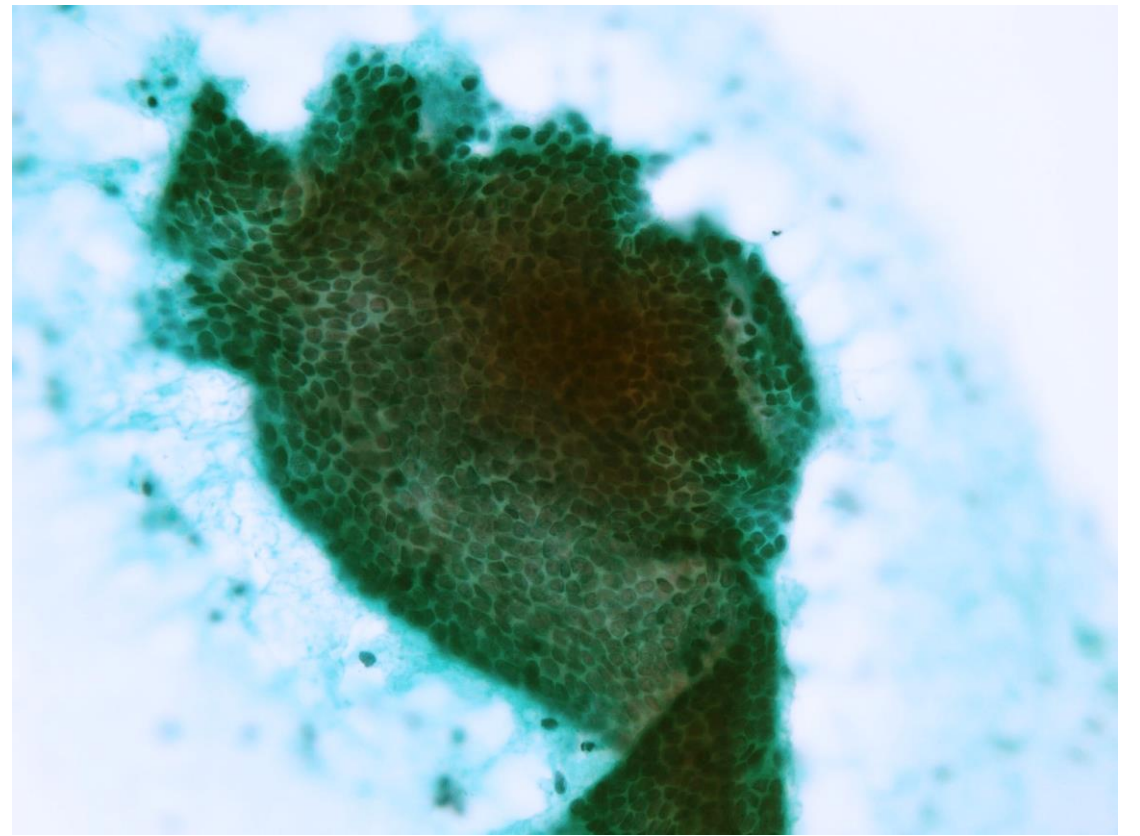
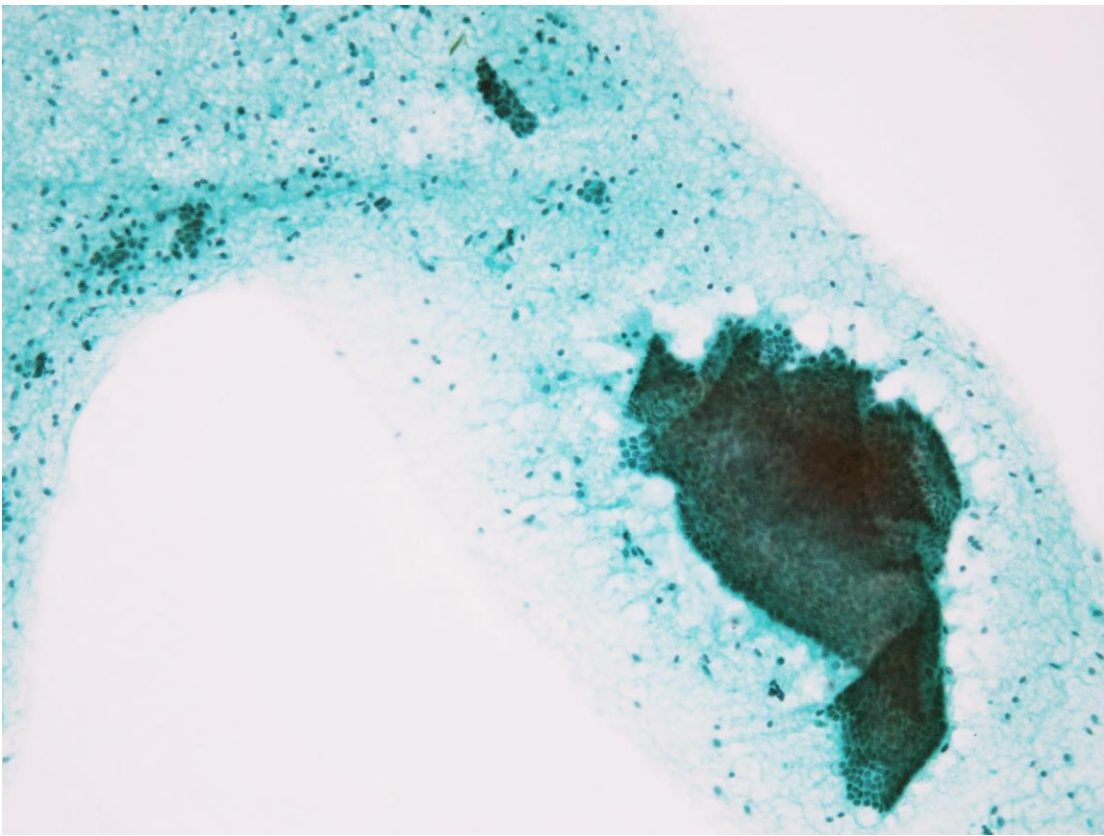
性別 : 女性

臨床所見 : 右乳腺腫瘍の疑い

検体 : 右乳腺穿刺吸引

推定病変	件数	%
浸潤性乳管癌(腺管形成型)	0	0
管状癌	1	1.8
粘液癌	0	0
線維腺腫	55	98.2
葉状腫瘍	0	0





- ✓ 双極裸核を背景に、大型のシート状配列を呈する乳管上皮細胞集塊が出現
- ✓ 集塊の核密度は低く、辺縁部からほつれなどの結合性の低下は認めない
- ✓ 核は類円形で、大小不同・核形不整・核クロマチン増量に乏しく、核間距離は均等

正解：線維腺腫

設問9

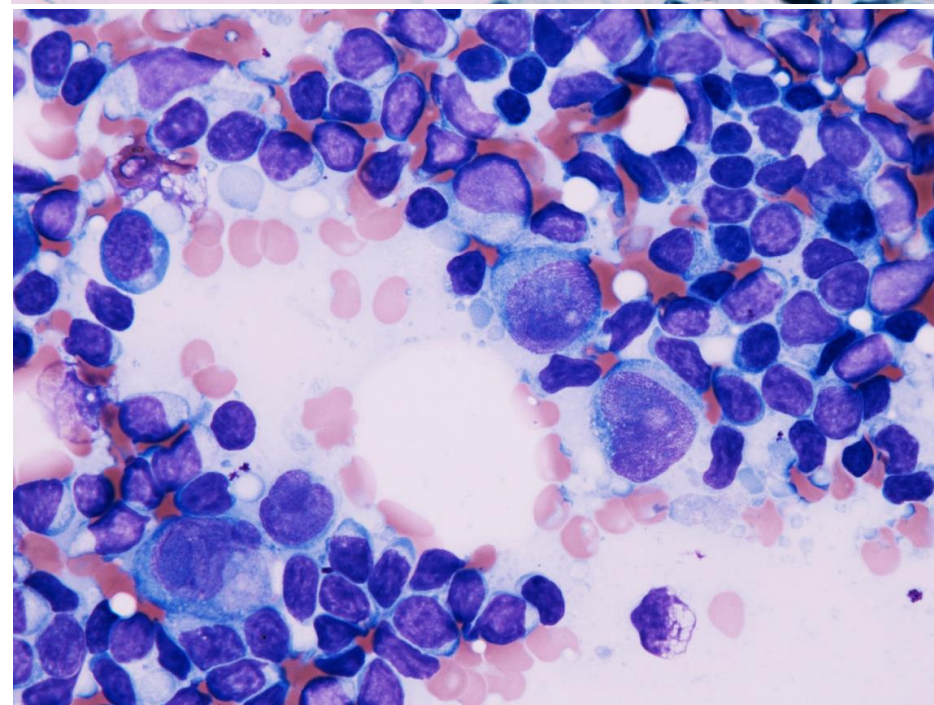
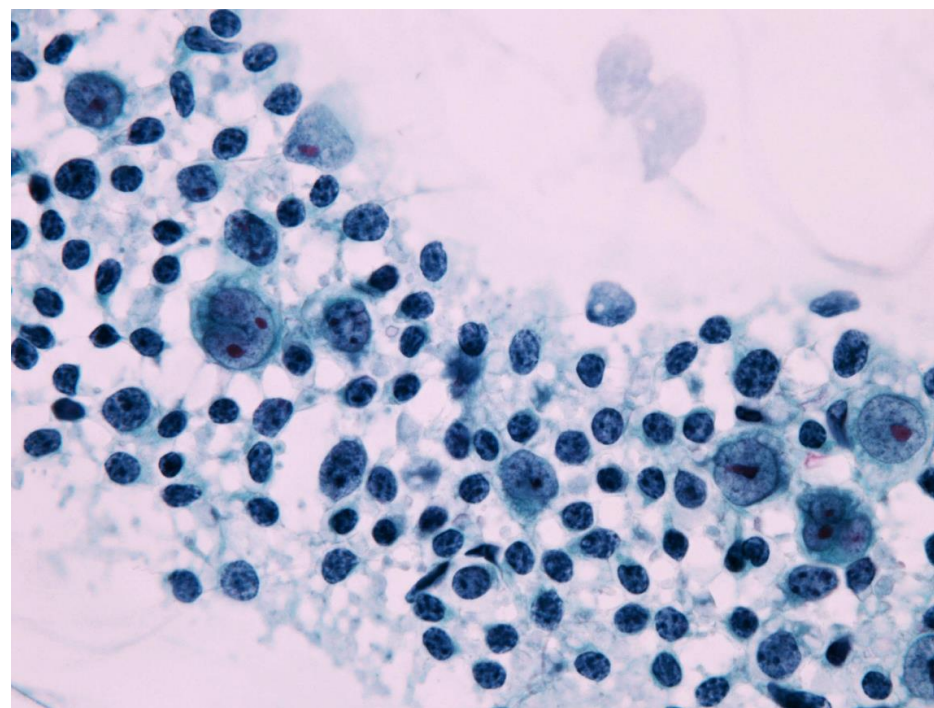
年齢 : 60代

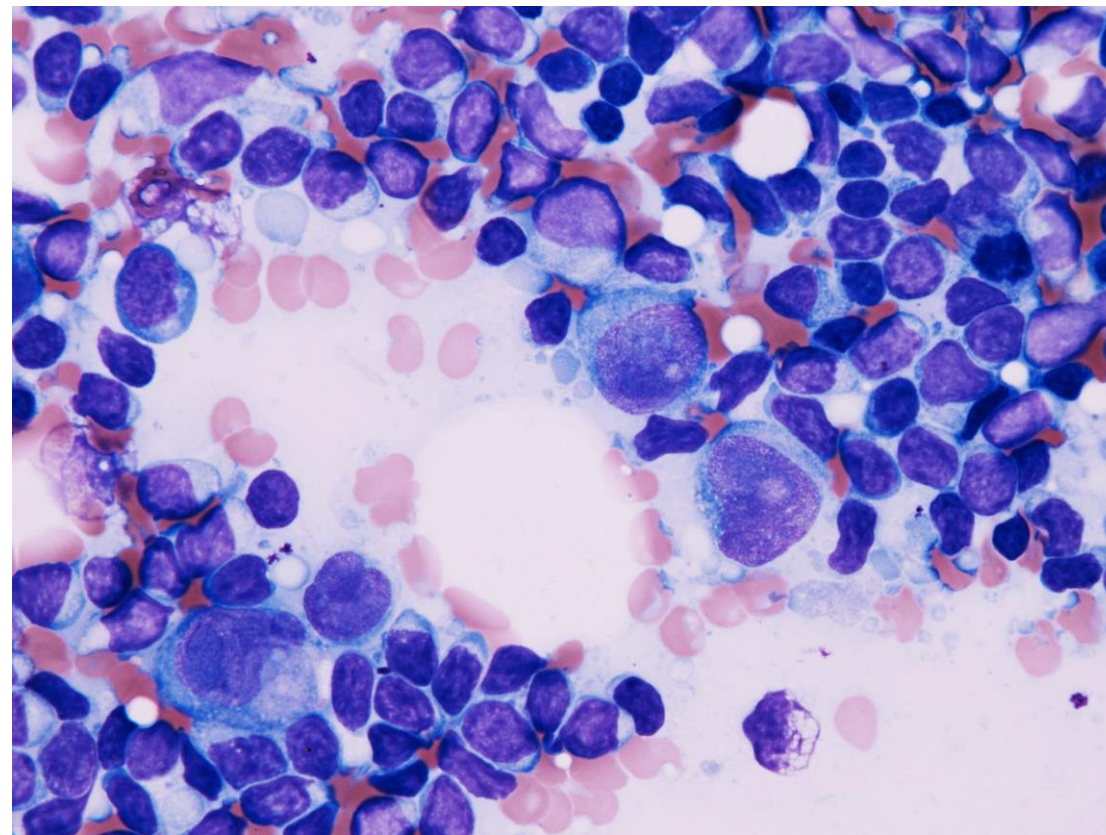
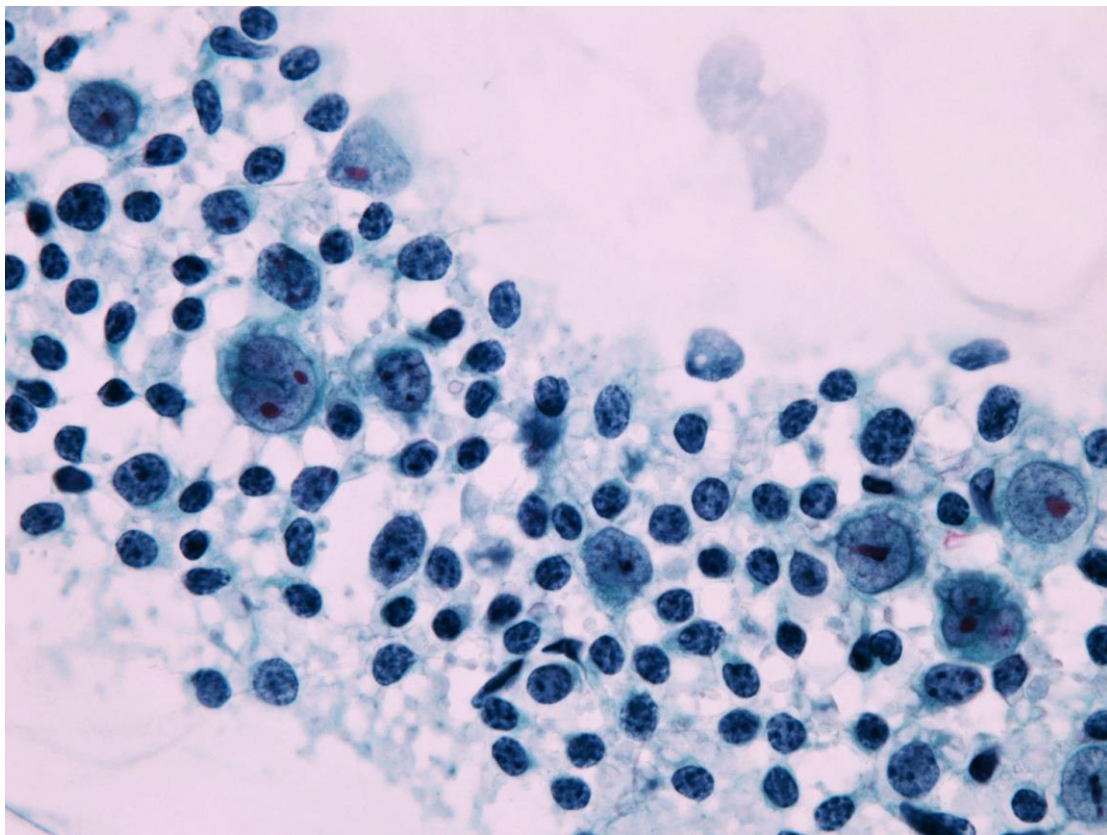
性別 : 男性

臨床所見 : 右頸部リンパ節腫脹

検体 : リンパ節穿刺吸引

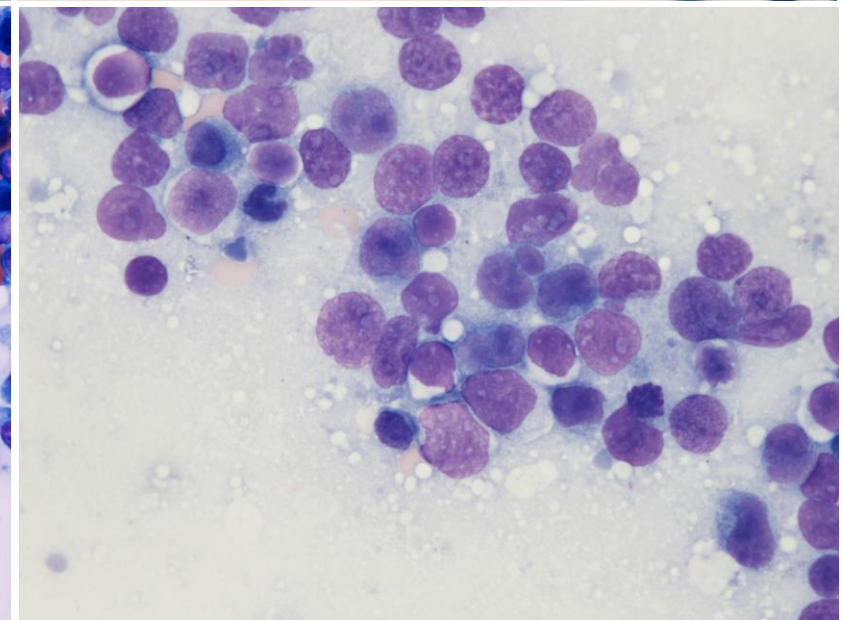
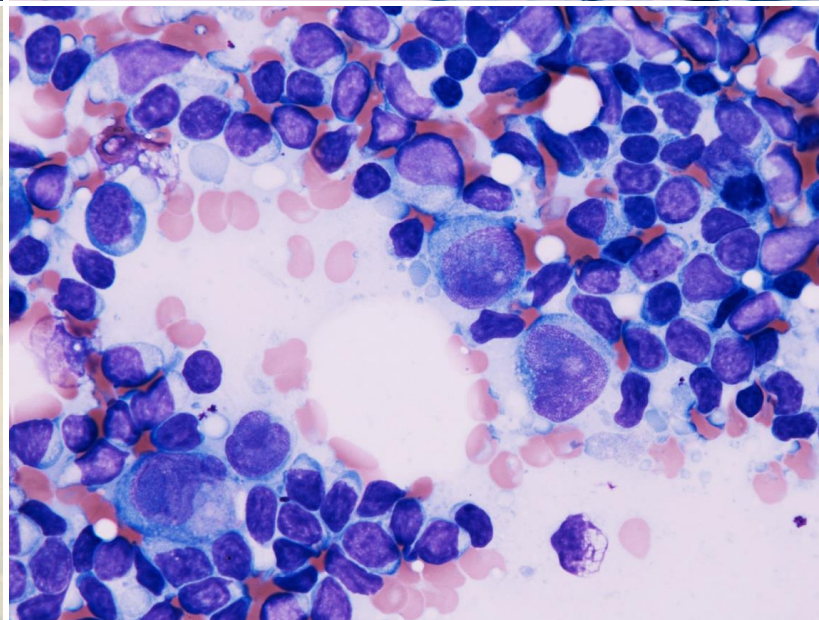
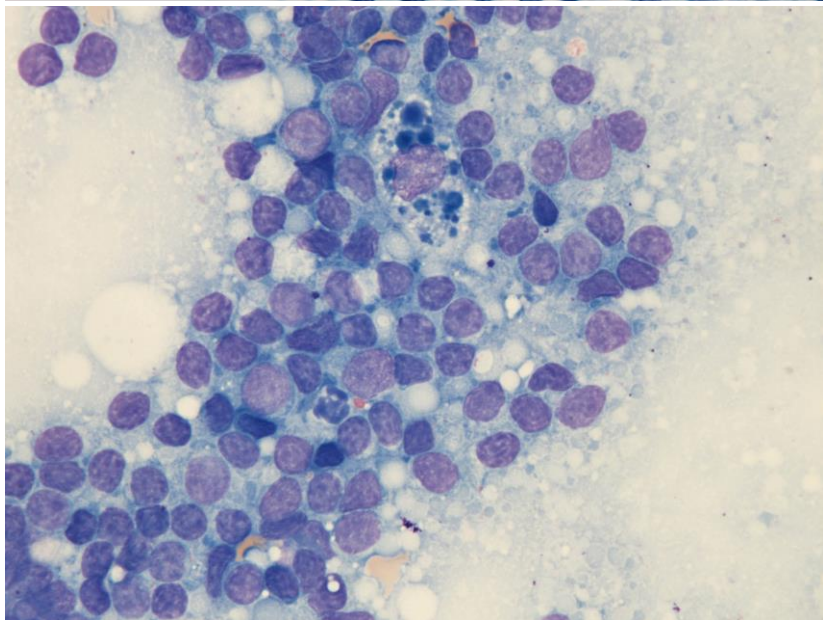
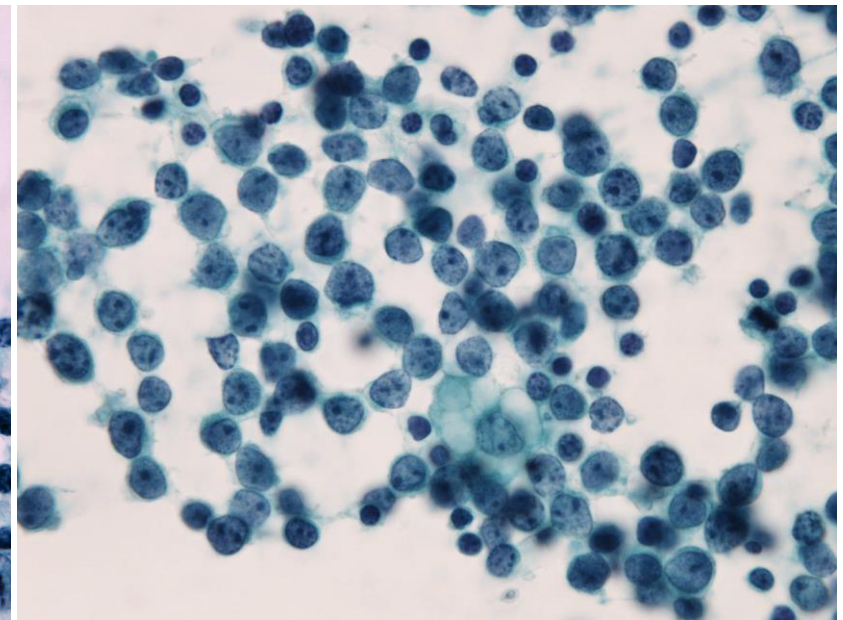
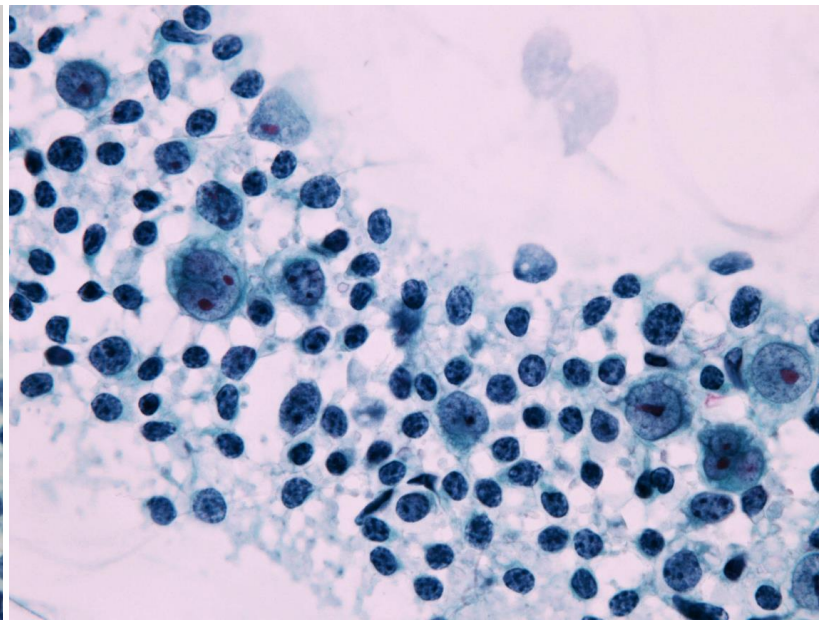
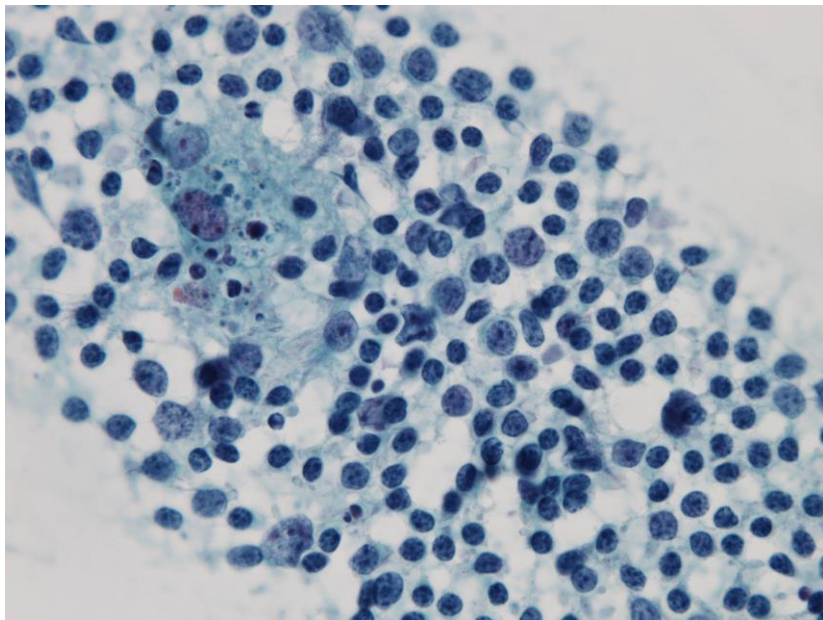
推定病変	件数	%
反応性リンパ節炎	2	3.6
菊池病	0	0
ホジキンリンパ腫	53	94.6
非ホジキンリンパ腫	1	1.8
腺癌	0	0





- ✓ 多数の成熟リンパ球のなかに、核小体の腫大した大型の単核細胞を孤在性に認める
- ✓ 大型の細胞は、類円形ないし切れ込みなどの不整形を呈する
- ✓ 細胞質は、豊富でライトグリーンに好性で淡い

正解：ホジキンリンパ腫

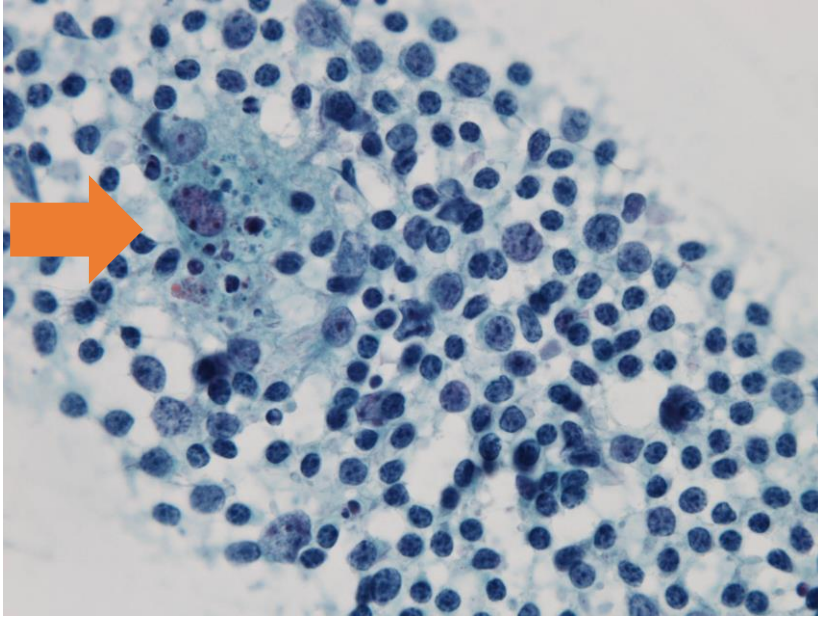


反応性リンパ節炎

ホジキンリンパ腫

非ホジキンリンパ腫

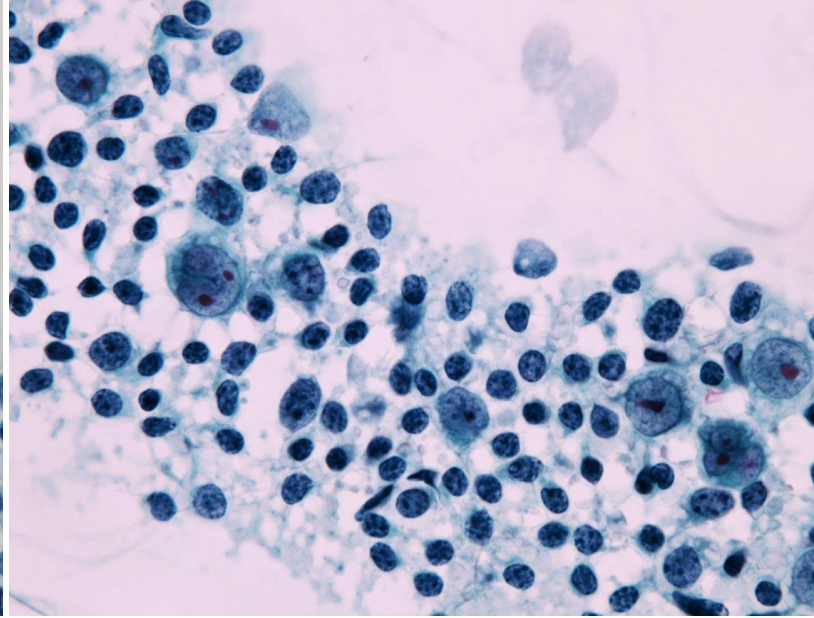
反応性リンパ節炎



Point

- ✓ 背景は成熟小型リンパ球
- ✓ 大型リンパ球、免疫芽球、形質細胞と**多彩な像**を呈する
- ✓ 核破砕物を貪食した円形の核を有する組織球(**TBM**)の存在
(TBM: tingible body macrophage)

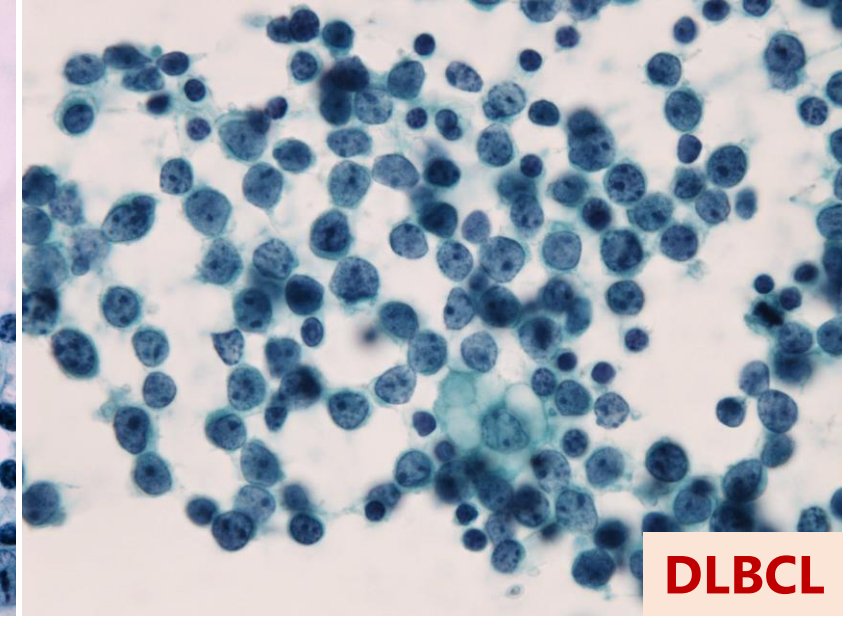
ホジキンリンパ腫



Point

- ✓ 背景は小型リンパ球
- ✓ 単核の **Hodgkin(HD)細胞**
 - ・類円形～不整形の大型核
 - ・核小体は大型で明瞭
 - ・細胞質は豊富で、ライトグリーン好性で淡い

非ホジキンリンパ腫



Point

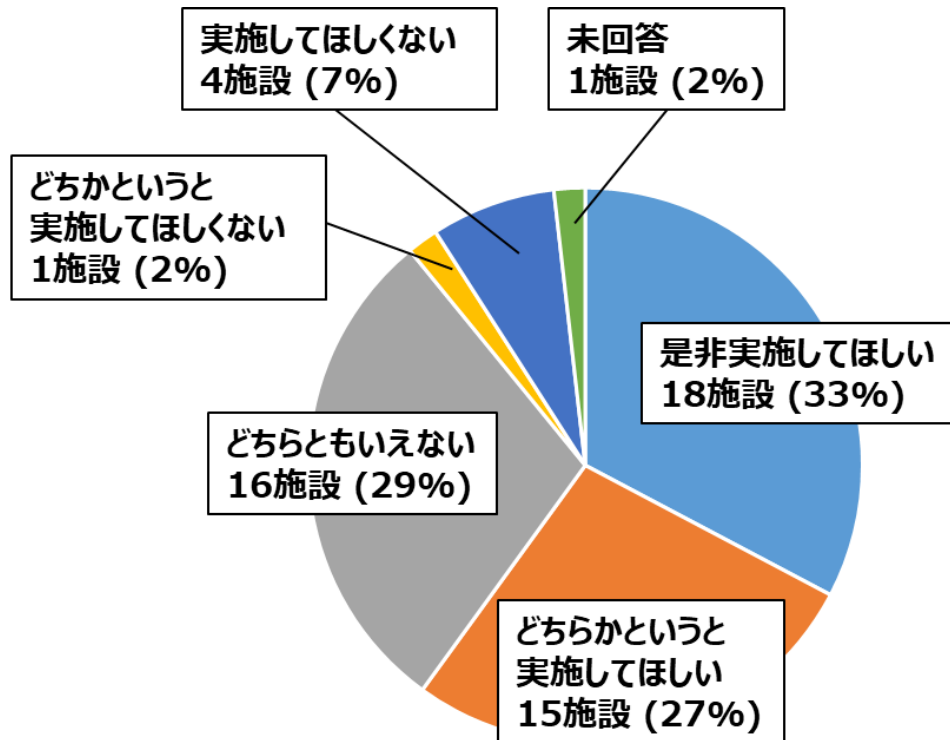
- ✓ 大型で異型性を示すlymphoid cellが**単調に出現**
- ✓ 成熟小型リンパ球は目立たない

アンケート調査について

- 細胞診における染色について、実施状況の把握や今後の精度管理調査への希望を目的に、アンケート調査を実施した。
- 回答設問施設総数は、**56**施設であった(設問によって回答数が異なる)。
- 今後も、ニーズにあった精度管理調査の構築のためにアンケート調査を継続していく予定です。参加される施設に、ご協力していただけると幸いです。

アンケート調査結果

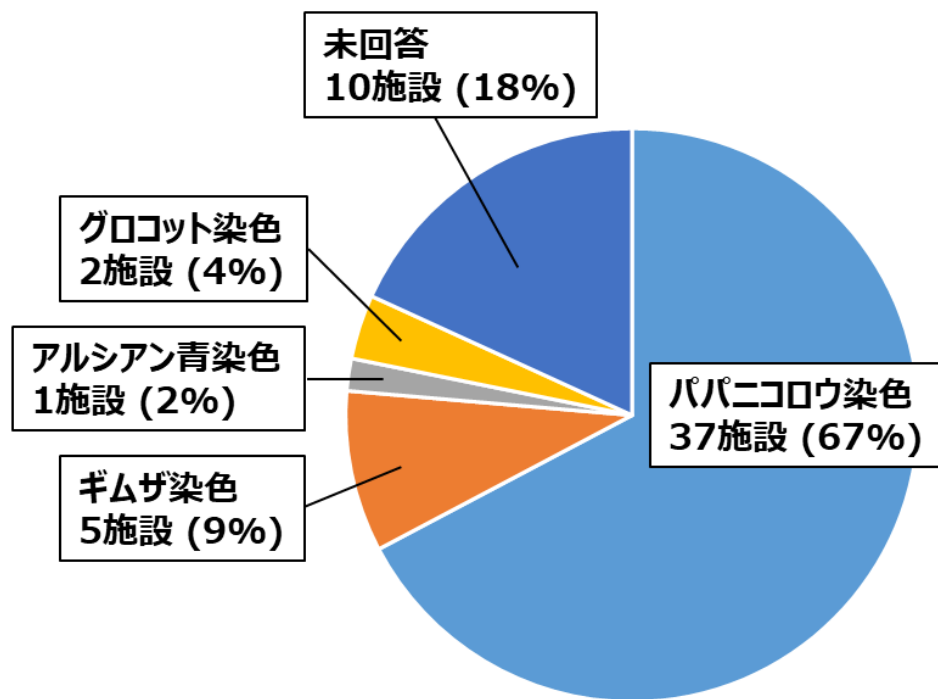
今後の精度管理調査で染色サーベイの実施を企画しています。
実施を希望されますか。



- ✓ 実施してほしい **60%** (33/55施設)
- ✓ どちらともいえない **29%** (16/55施設)
- ✓ 実施してほしくない **9%** (5/55施設)

アンケート調査結果

希望する染色がございましたら、教えてください(複数回答可)。



染色名	施設数
パパニコロウ染色	37(67%)
ギムザ染色	5(9%)
グロコット染色	2(4%)
アルシアン青染色	1(2%)

まとめ

- 全ての設問において正解率が**90%以上**であった。
(設問5:94.6%、設問7:96.4%、設問8:98.2%、設問9:94.6%、他100%)
- 設問4においては、発生頻度の低い症例であるが、診断における細胞診の役割は非常に重要であり、細胞検査に従事する担当者に認識していただきたい症例として出題したが、正解率は**100%**と良好であった。
- アンケート調査では、染色サーベイ実施の希望が**60%**と多かった。
- 染色サーベイについては、対象とする染色や実施方法等を検討し、今後実施していきたいと考える。

設問の解説やアンケート調査結果の詳細は
精度管理調査総括集をご確認ください

細胞検査部門精度管理調査にご参加いただき
ありがとうございました

